



# まとめ

次元の異なる二つの「予防原則」とそれらの手順

- 特定の脅威の存在の可能性が疑われた場合

リスクの概念で、リスクアセスメントに基づいて科学的に検証し、透明性を持って不確実性を議論し、要件が満たされれば予防原則に基づいてマネジメントを行う

- 不特定な未知の脅威が潜んでいることを前提にした場合

可能な限りの有害性を削減あるいは回避するために、長期的な視野で予防原則に基づいた社会システムを構築する